

(中間評価)

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（女性リーダー育成型）

(実施期間：令和4～令和9年度)

代表機関：日本医科大学（総括責任者：弦間 昭彦）

共同実施機関：日本獣医生命科学大学

取組の概要

1. 飛躍的な女性上位職登用

「飛躍的女性上位職登用プロジェクトチーム」を新設し、上位職登用候補をリストアップし登用を促進する。上位職に登用された研究者には継続的に活躍に必要な支援を行う。これにより女性研究者がリーダーとして独立して研究できる環境を整備する。

2. 女性・若手研究者に対する研究力向上、およびシームレスな育成に向けた取組

必要十分な研究費、海外研究留学、研究費獲得などの支援をし、産学連携研究の推進と女性・若手研究者の研究力向上を図る。さらに、5年後キャリアビジョンサポートやキャリアフォローシステムにより、早期からのキャリア形成の支援体制を構築する。これらは新設する「女性・若手研究者支援プロジェクトチーム」により実行され次世代の上位職を担う人材を長期的に育成する。

牽引型で整えた体制を土台に、この二つを取組の両輪として実行し、即効性と継続性のある女性・若手研究者の活躍推進を実現する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
A	b	a	b	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

「One Health (いのちのつながり)」を共通理念として掲げる医学系と獣医学系の2大学が、「飛躍的女性上位職登用プロジェクトチーム」を新設し、「ポストアップ教員制度」を構築し、女性研究者の上位職への登用を積極的に進めていることは評価できる。また、「女性・若手研究者支援プロジェクトチーム」を新設し、継続的なメンタリングや研究費支援を行い女性研究者のキャリア形成を支援する特徴的な「5年後キャリアサポート制度」を構築し31名の女性研究者を支援しており、若手女性研究者の今後の研究力向上、上位職へのキャリアアップが期待できる。両大学においては、取組の成果として女性教員が増加し、特に女性上位職教員（教授・准教授）が増加しているものの、目標は達成できていないものが多い。今後は、2大学一体となって取組の強化、更なる推進を図り成果へと繋げ、所期の目標を達成することを期待する。

- ・**目標達成度**：女性及び若手研究者の研究力の向上、キャリア形成支援が計画に沿って進められ、女性研究者、女性上位職教員（教授・准教授）は増加傾向にある。しかしながら、女性研究者の在職人数・比率、女性教授・准教授の在職人数・比率は一定程度増加しているものの、目標値

に届いていないものが多い。今後は、目標値が達成できなかった要因を分析し、所期の目標の達成に向け、より実効性の高い取組を実施することを期待する。

- **取組**：上位職への昇任が期待できる女性研究者の育成を図る「ポストアップ教員制度」、「教授（教育担当）」といった新たなポストを構築し、女性教授・准教授を一定程度増加させたことは評価できる。また、女性研究者のキャリア形成を早い段階から支援する特色ある「5年後キャリアサポート制度」を構築したことは評価できる。
- **取組の成果**：女性研究者の上位職登用を促進する取組が女性教授を増加させる成果に確実に繋がっており、女性教授・准教授が増加したことは評価できる。しかしながら、意欲的な目標は達成できていないものが多く、目標が未達の要因をよく分析し、より効果的な取組を実施することを期待する。
- **実施体制**：代表機関の学長を統括責任者とする「One Health 実行委員会」が、2大学それぞれに設置した「ダイバーシティ推進委員会」の連携を図り、事業全体を統括する効果的な実施体制を構築したことは評価できる。また、2大学それぞれに、学長、研究部長等より構成される「飛躍的女性上位職登用プロジェクトチーム」を新設し、大学全体として女性研究者の上位職登用へ向けた取組を積極的に推進していることは評価できる。
- **今後の進め方**：本事業の取組を継続するとともに、上位職に登用した女性研究者の活躍支援を継続する計画であり評価できる。2大学の緊密な連携の下、取組の実施を一層加速し、女性の上位職登用に係る野心的な目標を確実に達成することを期待する。また、事業実施期間終了までに、クラウドファンディング、寄附金等の活用を含め、事業継続のための安定的な自己資金の確保へ向けた方策を検討することを期待する。